



# 青少年赤十字だより

令和2年4月10日発行 第60号

編集：群馬県青少年赤十字指導者協議会広報部（日本赤十字社群馬県支部内）

〒371-0833 前橋市光が丘町32-10 TEL 027-254-3636 赤十字の活動を知りたい人は…日本赤十字社URL <http://www.jrc.or.jp>

## すべては“気づき”から始まる ～リーダーシップ・トレーニング・センター開催～

夏休み中に、県内各地から小・中学生、高校生の青少年赤十字メンバーが参加する「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」が開催されます。赤城山大沼のほとりにある前橋市赤城少年自然の家を会場に、2泊3日（高校生は合計4日）の日程で、多くの児童・生徒が参加しています。

この研修会では、「気づき・考え・実行する」という青少年赤十字の態度目標を共同生活の中で実践しながら、赤十字の精神や救急法などを学びます。県内各地から児童・生徒が参加するため、普段は知り合うことのない地域のメンバーとも交流を図ることができました。

### トレセンで学んだ3つのこと

太田市立西中学校 2年 荻野 木陽

私は、このリーダーシップ・トレーニング・センター（トレセン）でたくさんのことを学びました。その中で特に心に残っていることが3つあります。

1つ目は、V・S（ボランティア・サービス）です。V・Sでは、先生方からアドバイスをもらい、自分で判断してやっていくことがとても難しかったです。だから、私はこの3日間で“自分で考えて動く”ということを学んだので学校で活用していきたいと思います。

2つ目は、フィールドワークです。この学習は赤十字の態度目標である「気づき・考え・実行する」をもとにホームルームの仲間といっしょに協力したり、ともに考えたりすることで仲が深まることわかりました。これを活かして、私のクラスで何か協力できるものをつくろうと思いました。

3つ目は、ワークショップです。ワークショップでは、自分の学校やクラスの問題点をさがし、どうやったら改善できるのかを見つけることができました。例えば、私のクラスをさらによくするためにはどうしたらよいかを考えるのはとてもむずかしかったけど、他の学校でやっていることを聞いてみたら、とてもいいなと思ったものがたくさんあったので、今後の学校生活で提案し実行していきたいと思っています。

私は、自分のクラスをよくして、体育祭で優勝、合唱コンクールで金賞をとりたいです。そのためには、トレセンで学んだことを活用していったり、広めていったりしなければいけないと思います。だから、私が、率先して動きたいと思います。そして、自分で率先して動こうと思ったのは、この活動があったからです。



### 「リーダーシップ・トレーニング・センター」に参加して

高崎商科大学附属高等学校 教諭 神戸 沙織

JRC部の先輩顧問の先生から「積極的待ち」という言葉を教わりました。先回りしてあれこれ指示をするのではなく、どうしたらよいかを生徒に考えさせ、答えを出すのを見守り、「待つ」指導のことです。この「待つ」姿勢の後にこそ、生徒は想像以上の成長を見せるものです。しかし、時間に追われた普段の生活の中で「待つ」ことは思いのほか難しく、私たち教師は手っ取り早く解決する方法を提示したり、効率と完成度を求めて手を差し伸べたりしてしまいがちです。

そのような日常を省み、今求められている「主体的・対話的で深い学び」の実践をできる場がこのトレセンです。チャイムや号令はなく、連絡事項も基本的に掲示板を通して行われ、指導者が事細かに指示を出すこともありません。その日に自分が何を学び、どのように行動するのかを自分自身で考える「先見」の時間が毎朝設けられており、「5分前行動」や「注意深い生活態度」を意識づけられるようになっています。生徒は全ての場面で自分の責任において「気づき・考え・実行する」ことを求められます。それは赤十字について深く学んだり、自分たちの活動について語り合ったりする研修の時間も同じです。

指導者の役割は生徒の考えを自分の言葉で表現させたり、それを深めるための問いかけをしたりすることで「気づき」に結びつけることです。この「気づき」、「考える」力が育っていれば生徒は自らの知識や経験をもとにして問題を解決していく能力を高めていくことができます。初参加の私にとって、ベテラン指導者の先生方の「待ち」の姿勢は大変勉強になりました。生徒の変化をよく見て、待っているものがいつやってくるかのようにアンテナを張っています。最低限のことだけ教え、考える機会や時間を与え、豊かに学ばせています。

トレセンに参加すると、生徒たちは「考えることは楽しい。」と何度も思うでしょう。トレセンは現在生徒に求められている資質、能力を存分に伸ばす機会をちりばめた贅沢な研修です。ぜひ多くの児童・生徒に参加してもらいたいと思います。



# 小学校 青少年赤十字活動紹介

## ～みんなの仲間が各地でがんばっています～

### 気づき～考え～実行～振り返る

#### 【玉村町立玉村小学校】



本校のたてわり活動は、実施する前週に6年生達が企画づくりをし当日を迎えます。前回の振り返りで、班の子達から「～な遊びがしたいな。」という意見を生かしつつ（気づき）、班のみんなが楽しめる遊びを企画します（考え）。活動

の当日、高学年が遊びの準備や進行をして楽しく遊びます（実行）。大事なのは遊びっぱなしでなく、必ず振り返りをして次の遊びにつなげていること（気づき）です。毎年実施しているたてわり活動でも、振り返りで活動をつなぎながらJRCの精神がきちんと根付いています。

### 縦割り班で学ぶJRC活動

#### 【昭和村立東小学校】



本校では、高学年がリードする活動を視点においてJRC活動に取り組んでいます。「目を見て、元気に、はっきりと」を意識した「あいさつ運動」が盛んで、児童玄関でハイタッチをしな

がら元気よく行われています。その他、年2回の「花いっぱい運動」や「ゴミなし集会（地域清掃）」や「落ち葉はき集会」などの奉仕活動、募金活動などを行っています。「仲良し読書」や「団活動」なども特徴の一つです。これらの共に学び合う活動を通して、JRCの精神を学んでいます。

### 地域に貢献できる児童の育成をめざして

#### 【高崎市立新町第二小学校】



本校では、JRC委員会が中心となり、次のような活動に取り組んでいます。まず、世界の子どもたちに予防接種のワクチンを届けるため、全校に呼びかけ、年間を通してクラスごとにペットボ

トルのキャップを集めています。また、赤い羽根共同募金やユニセフ募金にも学校全体で取り組んでいます。さらに、学校で気持ちよく過ごせるようにするために、JRC委員がお掃除チェックをし、優秀なクラスには「お掃除パーフェクト賞」を出しています。これらの活動を通して、地域に貢献できる児童の育成を目指しています。

### みんなで取り組むJRC活動

#### 【太田市立宝泉南小学校】



本校では、思いやりの気持ちを持ちながら、児童会本部を中心に登録式や赤い羽根共同募金、書き損じはがきの回収などの活動を行っています。また、みんなが仲良く生活で

けるように、クラスや委員会であいさつ運動を行い「こんにちは」「おはようございます」などの元気のよい声が校内に響いています。さらに、委員会と協力して校庭に花を植えたり、清掃のボランティアを行ったりしてみんなで「気づき・考え・実行する」気持ちを大切にしながら活動に取り組んでいます。

### 思いやりの心を大切に

#### 【東吾妻町立原町小学校】



本年度の児童会は、「思いやりの心を大切に全校でつくりだせ 原小の絆」をスローガンに様々な活動に主体的に取り組んでいます。活動の一つに「あいさつ運動」があります。代表委員会と専門委員会が輪番で毎朝正門に立ち、登校してくる仲間と「大きな声で、目を見て、誰にでも、笑顔で」あい

さつを交わし、週末には、その中から「あいさつチャンピオン」を選び表彰します。本校は、こうした異年齢集団による温かな人間関係づくりを通して、思いやりの心を育てています。

### 地域を元気に、あいさつ運動

#### 【渋川市立渋川南小学校】



本校では、児童会の運営委員が毎週2回、朝のあいさつ運動を行い、全校児童が気持ちよく一日のスタートを切れるようにしています。そして、毎月1回は学校付近の2か所で、近くにある渋川

中学校と渋川女子高校の生徒会の皆さんと合同のあいさつ運動を行っています。最初はぎこちない様子でしたが、今では校種を超え、ハイタッチする姿も見られます。同じ地域の学校で学ぶ者同士で、学校だけでなく地域を元気にできるよう、元気よく「おはようございます!」と言っています。



# 中学校 青少年赤十字活動紹介

## ～みんなの仲間が各地でがんばっています～

### ピアサポート活動

#### 【前橋市立鎌倉中学校】



本校では、生徒同士の支え合いであるピアサポート活動が20年以上続いています。毎年4月にピアサポーターを募りますが、学年の半分

以上が登録するほど盛んな活動です。具体的な活動として、日常のピアサポートはもちろん、年2回のワイド相談を行います。これは一つ下の学年の悩みに、先輩の立場から相談に乗るというものです。自分の経験を振り返り、経験を交えて後輩にアドバイスをを行います。本校生徒はこれらの活動を通して、支え合い協力し合う気持ちが育っています。

### 地域との交流と絆

#### 【みなかみ町立藤原中学校】



本校は小中併設校なので、小中学校で協力して様々な活動をしています。毎年、スキー授業等でお世話になっている地元のスキー場の駐車場やスキー場まで

の道のゴミ拾いをしています。他にも、赤い羽根共同募金に積極的に取り組んだり、総合的な学習で地域の方々を招待し、日頃の感謝を伝える行事「藤原祭」を開催したりしています。これらの活動を通して、地域の方々と密接な関係を築くことに努めています。今後も、全員が手を取り合い、共に交流の環を広げていきます。

### 人の思いをくみ取れる人に

#### 【藤岡市立東中学校】



本校では年2回、人権集中学習旬間を設け思いやりの心を育てています。今年度後期は「慮れる東中へ」をテーマに学習しました。校内駅伝大会や人権講演会、道徳特別授業等実施する中で、今回力を入れたのは委員会活動です。各委員会が主体的に話し合い、重点活動を決め、実際に活動しました。具体的には、放送委員会が毎日人権ソングを流したり、園芸委員会が花いっぱい運動を実施したりしました。これらの学習を通し、気づき合い、認め合える東中生が育っています。

本校では年2回、人権集中学習旬間を設け思いやりの心を育てています。今年度後期は「慮れる東中へ」をテーマに学習しました。校内駅伝大会や人権講演会、道徳特別授業等実施する中で、今回力を入れたのは委員会活動です。各委員会が主体的に話し合い、重点活動を決め、実際に活動しました。具体的には、放送委員会が毎日人権ソングを流したり、園芸委員会が花いっぱい運動を実施したりしました。これらの学習を通し、気づき合い、認め合える東中生が育っています。

### 思いやりの心を育むために

#### 【みどり市立大間々中学校】



本校では、JRC委員会が赤い羽根共同募金や書き損じはがきの回収、3年生を送る会に向けての花文字を生徒同士が話し合って主体的に取り組んでいます。また、令和元年度初の試みで日赤の方を招き、心肺蘇生と命

の大切さを学ぶ授業を実施しました。一人1つの練習キットを活用しての実習は、充実した体験となりました。周囲の人と協力し、人の命を助けることの大切さを学ぶ貴重な時間となりました。生徒同士が協力することの大切さや、人を思う気持ちを育てています。

### 地域の人々とともに

#### 【長野原町立東中学校】



本校では、3年生が地元の特別養護老人ホームを訪問し、福祉体験を行っています。デイサービス班、ショートステイ班、福祉作業所班に分かれて体験をします。障害者福祉や高齢者福祉につ

いて実感を伴った学びをすることができました。また町内にビールびん・アルミ缶の回収を呼びかけ、夏と冬の2回地域の中学生会で回収を行いました。収益の一部を福祉関係施設に寄付しています。社会への積極的な関わりを生むきっかけとなっています。

### ペチュニア栽培で笑顔の花が咲く

#### 【高崎市立矢中中学校】



本校では、全校生徒がJRCの一員であるという意識をもって活動しています。通年の活動であるリサイクルペーパーやペットボトルキャップの回収に加え、赤い羽根共同募金や書き損じはがき

回収、ペチュニア栽培など、常に全校の生徒が活動に関わっています。特にペチュニア栽培では、毎年、種子から育てています。定植作業では、花が咲くのを楽しみにしながら、皆が汗と土にまみれて笑顔で作業を行います。咲いた花は、各教室前のベランダに飾ったり、PTAとも協力して地域の施設にも配布したりしています。

# 高等学校 青少年赤十字活動紹介

## 地域から愛されるJRC部に

【群馬県立高崎東高等学校】



本校は、ボランティア活動が盛んです。本校JRC部は1年生が12名、2年生が16名、3年生が20名の計48名の部員で活動しています。学校内では、サイクリングロード沿いに

コスモスを育てる活動やペットボトルキャップ回収、除草・清掃活動や献血のPRを行っています。校外では、月曜日から金曜日までの放課後に大類学童クラブで児童と交流したり、長期休業中には老人ホームでハンドベルの演奏をしたりしています。「地域から愛されるJRC部に」が目標です。

## 見知らぬ人の笑顔のために

【群馬県立館林高等学校】



「フードバンク」活動は、認知度が低く事前周知も難しい問題があります。しかし、本校では、チラシを配布することで地域の方から多く

の協力を得て、食品の寄付を集めることができました。これ以外にも「子ども食堂」などでボランティアも行っています。普段一人で食事をしていた子ども達も何度も足を運んでくれるようになり、地域に密接した活動になってきました。

今後も地域の方々と協力して、多面的に活動を続けたいと考えています。

## 触れあいを大切に

【群馬県立沼田高等学校】



本校JRC部は2年生3名、1年生3名の計6名で活動しています。校内ではペットボトルキャップ回収、花壇の手入れ、生徒会と合同で自然災害などの募金活動を行っています。

また校外活動では、保育園ボランティア、介護施設ボランティア、お祭りのボランティアなどを積極的に行っています。

地域の方と触れあうことで、保育の現状や介護の課題、地域の課題などを考えるきっかけとなり、有意義な活動となっています。

今後も触れあいを大切に活動していきます。

## ボランティア活動を通して成長する

【桐生第一高等学校】



本校JRC部は11名で活動しています。主に、校内・校外清掃活動や募金活動をしています。今年度は、校外清掃を通して地域の方々と交流することもできました。また、10月に行われた文化祭では海外たすけあい募金を行いました。清掃活動と募金活動は、これからも継続して行っています。

土日は、桐生市内の行事のボランティア活動や青少年赤十字の交流会などに参加し、他校の活動を知り、自分たちの学校でも取り入れられることを見つけて、部員全員で話し合いをもって取り入れるようにしています。今後は、県外の災害ボランティア活動にも参加し、仲間と楽しみながら活動の幅を広げていきたいと思っています。

## 全国高等学校総合文化祭に参加して

【前橋育英高等学校 3年 羽鳥 寧里】



7月27日～29日の3日間、さが総文ボランティア部門に参加させて頂きました。全国から集まった各学校の活動報告会やフィールドワーク

を行いました。フィールドワークでは、日本赤十字社の生みの親である佐野常民（佐賀県出身）の功績や考え等を深く学ぶことが出来ました。また、熊本地震についての話を聴き、災害に対する現状を知り「私に出来ることは何か」を考えるきっかけとなりました。様々な経験を通して、自分を大きく成長させることが出来たと実感しています。

## 多くの人と関わった県総文祭

【高崎商科大学附属高等学校 1年 須田 帆夏】



「駆け上がり 未来への階段」をテーマとした県総文祭が11月1日～2日の2日間にわたり開催されました。学校や専門部ごとに様々な役割やイベントがありました。

1日目、私は青少年赤十字の交流会で救急法について学びました。最後はグループ対抗で、手当ての早さと正確さを競いました。

2日目は屋外イベント係として「チョコバナナ」「フルーツサンド」「フランクフルト」の模擬店を行いました。協力して完売させることができました。県総文祭を通して、学校や年齢関わらず多くの人と交流でき、とても良い経験になりました。



# マレーシア派遣報告

## ～日本赤十字社北関東三県支部青少年赤十字海外派遣～

日本赤十字社北関東三県支部（群馬、茨城、栃木）では、7月21日～7月26日の6日間、青少年赤十字メンバー14名と指導者2名をマレーシアへ派遣しました。現地赤新月社の視察や学校訪問によるメンバー交流を図り、マレーシアの歴史や文化、住んでいる民族について学びました。（本県からは高校生4名、中学生1名、指導者1名を派遣）

### 群馬県立前橋高等学校 2年 米山 和紘

今回の派遣中、私はずっと「国際理解って何？」と考えていた。私がこの派遣に参加した最大の目的は、国際理解・親善を学びそれを学校での活動に活かすことであつたからだ。

今回の派遣で、赤新月社、IFRC、加盟校等さまざまな施設を訪問して、私は国際理解において重要となる考えは文化等の違いを気にせず、楽しむことだと強く感じた。海外の人と笑顔で積極的に活動することは、今後国際化が進むうえでより重要になるだろう。また、文化を楽しむという形で受容しようと試みることも外国の人とかかわる上で大切になるだろう。そして、楽しむためにはその前提としてコミュニケーション能力が必要となってくると強く実感した。

私は今回の派遣で多くのことを学ぶことができた。このことを今後の部活動や人生に生かしていきたいと思う。もし読者の皆さんの中にこの派遣に興味があり、参加を迷っているようであれば、ぜひ一歩踏み出してほしいと思う。そして、マレーシアだからこそ学べることを自身の成長の糧にしてみようか。



### 群馬県立前橋南高等学校 2年 阿久澤 千晶



今回のマレーシア研修全体を通して、青少年赤十字メンバーとしてだけでなく、人として大きく成長することができました。

私たちは、研修の4日目と5日目に国立と公立の学校をそれぞれ一つずつ訪問しました。その中で私は、現地の生徒との会話について興味を持ちました。学校では、現地の生徒たちとの距離が縮まり、色々なことについて話すことができました。彼らは、英語を話すことがあまり得意ではない私の英語に一生懸命耳を傾けてくれ、理解しようとしてくれました。そのため私も相手に伝わるように精一杯話しました。その中で、伝えようとする気持ちが大切だということを感じました。

3日目に訪問したマレーシア赤新月社では、日本と活動している内容は違うものの人の命を救うという同じ目標に向かっていてことを実感しました。今回の研修で、信頼することができる、かけがえのない仲間ができたこと、そして様々なことを体験し学べたことを、研修に関わったすべての人に感謝したいと思います。

### 群馬県立前橋南高等学校 2年 宮川 わかな

このマレーシア派遣で、たくさんの「初めて」を経験しました。最初は実感がわかず不安もありましたが、日本に帰ってきた今、自分の大きな成長を感じています。ここでは、大きく印象に残ったことを二つ述べたいと思います。

一つ目は、多民族が共存している様子です。マレーシアは、主にマレー系や中国系、インド系の人々が生活する多民族国家です。特に、訪問先である学校でその様子を見受けることができました。それぞれの煌びやかな民族衣装や優雅な踊りを目の当たりにし、引き付けられるように見入ってしまったのを覚えています。

二つ目は、現地の方との交流です。マレー語を公用語とするマレーシアで、互いにぎこちない英語で言いたいことを伝えようと試行錯誤している内に、言葉の壁がなくなったような気がしました。その中に日本語やマレー語を織り交ぜながら話すことで、互いの文化を知る良い機会にもなりました。

この6日間は、私にとってかけがえのないものになりました。この経験を周りの人に伝え、今後の活動にも活かしていきたいと思います。



### 群馬県立前橋東高等学校 2年 若林 風佑



今回参加させていただいたマレーシア派遣では、文化の違いや現地のユースのメンバーの活動を学び、今後の学校での活動の意欲や、将来の進路に直結する思いが湧き出てきました。

最も印象に残ったのが赤新月社の訪問でした。数多くのニーズがある中で政府やNGOなどと協力し、様々な事業を行っていることに驚きました。救急法の訓練では、傷を再現して現場の緊張感を体感させることで、実際の状況でも対応できるような訓練を本格的に行っていることから、「人の命を助ける」という強い信念が伝わりました。また、マレーシアでは他に救急車を提供している団体がいくつかあると聞きましたが、有料のものが多く知り、日本での救急車が無料で呼ぶことが出来ることの有難さが分かりました。

また、現地の学校の生徒とは、正直コミュニケーションがうまく取れず、自分の英会話能力の未熟さを実感しました。将来海外でボランティアをしたいと考えているので今回の派遣は自分にとっていい経験となりました。この経験を将来の自分の生活に活かしていきたいです。

### 高崎市立箕郷中学校 3年 小泉 愛葉

今回参加したマレーシア派遣は私にとって、思いの幅を広げられるとてもよい機会になりました。

派遣事業で過ごした6日間で、色々な出会いができました。異文化を実際に体験することで、私は異なる文化を理解し合うことの大切さを知りました。異なる文化を理解することは文化の壁を取り壊すのではなく、生活様式や社会習慣、物の考え方など互いの異なった部分を認め合いながら生活していくことだと思います。平和な社会はここから生まれてくると私は改めて感じました。今回の経験のおかげで、自分が将来どのように動いていくべきかを考えることができました。また、現地でどのような赤十字の活動が行われているのかを知ることができました。日本は日本に合った、マレーシアはマレーシアに合った赤十字の活動が行われていることが分かりました。

私が今後していくことは、今回の派遣で学んだこと、知ったことを周りに発信することです。今回の派遣事業に携わって下さった方々に感謝しながら、学んだ大切なものを今後の生活の中で生かしていきたいと思います。



日本赤十字社群馬県支部では、メンバーの夏休みを利用して、赤十字や青少年赤十字に関する作文やポスターの作品募集を行っています。これは、各メンバーが青少年赤十字に関心を持ち、活動に対する意欲を高めることを目的として実施しています。なお、入賞者には賞状と副賞を、応募者全員に参加賞を差し上げています。毎年実施していますので、ぜひ皆さん応募してください。

## 青少年赤十字「作文」コンクール入賞者

### 小学生の部

| 受賞区分       | 学 校 名      | 氏 名   | 学 年 | 作 品 名          |
|------------|------------|-------|-----|----------------|
| アンリー・デュナン賞 | 千代田町立東小学校  | 羽中田桜花 | 5   | 誰かのために、役立つ事を   |
| 人道賞        | みどり市立笠懸小学校 | 磯 陽麻莉 | 5   | 国際協力への第一歩      |
|            | 明和町立明和東小学校 | 野澤 花  | 6   | ボランティア活動の第一歩   |
|            | 館林市立第一小学校  | 山崎 庸祐 | 3   | いのちと健康を大切にすること |
| JRC 賞      | 館林市立第六小学校  | 横澤 寧々 | 6   | ボランティア         |
|            | 館林市立第六小学校  | 矢澤優里菜 | 6   | 最初の1歩          |
|            | 館林市立第九小学校  | 市山 楓花 | 5   | 私の出来る事         |

### 中学生の部

| 受賞区分       | 学 校 名     | 氏 名    | 学 年 | 作 品 名                |
|------------|-----------|--------|-----|----------------------|
| アンリー・デュナン賞 | 館林市立第四中学校 | 小野 春菜  | 2   | みんなで支えあっているのちと健康を大切に |
| 人道賞        | 館林市立第四中学校 | 池上 雄大  | 3   | 青少年赤十字の一員になって        |
|            | 館林市立第四中学校 | 田代 美咲  | 3   | 自分にできる小さい事           |
|            | 太田市立南中学校  | 野村 紗希  | 2   | 自分の幸せ以外にも視点を         |
| JRC 賞      | 館林市立第四中学校 | 海老子川賢大 | 2   | 健康のために               |
|            | 館林市立第四中学校 | 和田澁二郎  | 2   | 誰かが辛いとき              |

### 高校生の部

| 受賞区分       | 学 校 名        | 氏 名   | 学 年 | 作 品 名                  |
|------------|--------------|-------|-----|------------------------|
| アンリー・デュナン賞 | 県立二葉高等特別支援学校 | 湯浅 拓豊 | 1   | 私ができるボランティア活動          |
| 人道賞        | 利根商業高等学校     | 峰川 侑人 | 2   | 気づき考える                 |
|            | 前橋育英高等学校     | 角田 裕美 | 2   | 私ができるボランティア            |
|            | 高崎商科大学附属高等学校 | 長壁 楓華 | 2   | 献血というつながり              |
| JRC 賞      | 県立高崎東高等学校    | 黛 さくら | 1   | トレセンで学んだこと             |
|            | 県立高崎東高等学校    | 長井 飛鳥 | 2   | TICを通して、献血、そしてJRCを広めたい |
|            | 利根商業高等学校     | 石田 渚  | 2   | 私たちができるボランティア          |

学校奨励賞 受賞校（※学校奨励賞は応募総数、応募率等を基に決定しています。）

|         |                                                      |
|---------|------------------------------------------------------|
| ○小 学 校… | 館林市立第一小学校、館林市立第二小学校、館林市立第六小学校、館林市立第九小学校、みどり市立笠懸小学校   |
| ○中 学 校… | 伊勢崎市立第一中学校、伊勢崎市立蓮通中学校、館林市立第四中学校、館林市立多々良中学校、玉村町立玉村中学校 |
| ○高等学校…  | 県立高崎東高等学校、県立伊勢崎工業高等学校、利根商業高等学校、前橋育英高等学校、県立二葉高等特別支援学校 |

## 青少年赤十字「ポスター」コンクール入賞者

### 1st アンリー・デュナン賞(最優秀賞)



館林市立  
第一小学校  
6年生  
川島 瞳依



前橋市立  
南橋中学校  
3年生  
姉崎 広伸

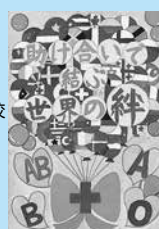


太田市立  
太田高等学校  
3年生  
岡田真理子

### 2nd 人道賞(優秀賞)



高崎市立  
久留馬小学校  
2年生  
多賀谷優里



館林市立  
第六小学校  
6年生  
原 美梨花



伊勢崎市立  
第一中学校  
2年生  
佐藤 綾花



玉村町立  
玉村中学校  
1年生  
門倉 葵生



太田市立  
太田高等学校  
3年生  
原田麻衣子

### 3rd JRC賞(佳作)



館林市立  
第六小学校  
5年生  
青山 将斗



館林市立  
第一中学校  
6年生  
篠崎 花音



館林市立第九小学校  
5年生 武田 陽翔



みどり市立笠懸小学校  
1年生 瀧澤 夏来



前橋市立  
南橋中学校  
3年生  
西 涼香



伊勢崎市立  
第一中学校  
1年生  
荻原 亜優



伊勢崎市立  
第一中学校  
3年生  
片山 柚朱



玉村町立  
玉村中学校  
3年生  
栗林 玲菜